

## 第1回協働推進会議準備会 議事録

と き 平成14年10月10日(木) 14時~16時20分

ところ 大和市役所会議室棟101・102会議室

メンバー 29名

- ・委員15名：市村委員 伊藤委員 内海委員 内田委員 宇津木委員  
岡島委員(途中参加) 河崎委員 小杉委員 小林委員 中村委員 林委員  
平塚委員 藤田委員 百瀬委員 渡辺精子委員
- ・オブザーバー参加3名(敬称略)：玉川まちづくりハウス 伊藤 三浦 天野
- ・事務局ボランティア6名(敬称略)：大塚 大矢 関根 田村 中島 虫本
- ・市事務局5名：安藤市民経済部長他4名

### 議事要旨

#### 全体の流れ

安藤市民経済部長からあいさつの後、委員と事務局ボランティアの皆さんが自己紹介をしました。それから議題の検討に入り、運営に関する申し合わせ事項が承認され、委員の互選により座長に林泰義委員、副座長に河崎民子委員が選ばれました。また、作業部会の部会長に、座長の指名により内海麻利委員が選ばれました。

その後、今後の進め方に関する協議が行われ、第1回作業部会において、協働ルールワークショップとの関連性も考慮したうえで、今後の検討内容・進め方を検討することが確認されました。

#### 確認事項

作業部会は委員の自由参加とし、委員はなるべく参加することとする。

1回目の作業部会では、今後の検討内容・進め方の確認と課題の整理を行う。あわせて、分科会設置の是非について検討する。

今後の日程

(第2回ワークショップ：10月14日(月)午後1時30分から鶴間コミセン)

・第1回作業部会：11月1日(金)午後2時から3時間程度

・第2回全体会：11月13日(水)午前10時から2時間程度

(第3回ワークショップ：11月17日(日)午後1時30分から鶴間コミセン)

## 議事内容

開会：14時

(以下、議事内容 進行は清水市民活動課長・・議題2まで)

### あいさつ

安藤市民経済部長から、あいさつがありました。

### 参加者自己紹介

委員・事務局ボランティア・オブザーバー参加(玉川まちづくりハウス)の皆さんから、それぞれ自己紹介がありました。

### 議題1 運営に関する申し合わせ事項(案)について

準備会の運営ルールについては、申し合わせ事項(案)が原案どおり承認されました。

#### 申し合わせ事項の主な内容

- ・ 協働推進会議の機能をはじめとした条例に定める仕組みに関する検討を行う。
- ・ 設置期間は推進会議発足までとする。
- ・ 全体会と作業部会で構成する。
- ・ 公開を基本とし、開かれた会議運営を行う。

### 議題2 座長、副座長、部会長について

委員の互選により、座長に林泰義委員、副座長に河崎民子委員が選ばれました。また、作業部会の部会長に、座長の指名により内海委員が選ばれました。

以下、進行は林座長

### 議題3 今後の検討スケジュールについて

#### 【作業部会に関連して】

- ・ 座長：作業部会への参加は、どのようにすべきか。
- ・ 部会長：協働ルール検討会議においては、特に固定メンバーを定めずに、有志の参加により作業部会を進めた。準備会においても同じように進めるか、固定メンバーを決めるかを確認する必要がある。

- ・委員：各委員の自己紹介を伺って、皆さんの熱い想いが伝わってきた。その想いを生かすためにも、固定メンバーを決めずに自由な参加とすべき。
- ・座長：昨年の検討会議では、多くの委員が部会に参加した。今回もできるだけ部会に参加するというので、固定メンバーをつくらないこととしたいがどうか。

各委員異議なし

- ・委員：検討内容のボリュームから考えると、はじめから設けるかどうかは別にして、テーマごとの分科会により検討を進めるべきだと思う。
- ・委員：分科会の意義は理解するが、すべてのテーマに関連性があるため一つの部会で検討する方法が良いと思う。分野ごとに別に議論しても、細かい部分までつきつめて議論はできないだろう。
- ・座長：はじめから分科会を設けるのは難しいとは思いますが、その必要性も含め部会で議論してほしい。

#### 【NPO に関連して】

- ・委員：市に確認したいが、庁内検討体制で「NPO 関係課長会議」「NPO ワーキンググループ」とNPO という表現が使われているが、市役所では、NPO に特化した検討が行われているということか。前々から気になっている点である。
- ・事務局：NPO が中心ではあるが、条例にもあるように、NPO だけということではない。庁内検討体制は平成12年4月にスタートしたが、当時NPO に対する理解が職員の間で十分ではなかったこともあり、あえてNPO と表現した経過がある。名称変更すべき、ということであれば検討する。
- ・委員：言葉の解釈の問題ではないか。この準備会において、NPO とは法人格を持つ団体に限定するのか、民間非営利組織ということで広く考えるのか、という点について、共通理解を持って検討を進めることが重要だと思う。
- ・座長：市ではNPO をどのような意味で使っているのか確認したい。
- ・事務局：法人格を持つ団体に限定しない民間非営利組織という理解で使っている。
- ・委員：NGO との関係は。
- ・事務局：とらえ方の問題だと思うが。
- ・委員：NGO にずっと関わってきた立場からは、両者はきちんとわけて考えるべきである。NGO は国連をはじめとする国際会議などで、民間団体を指すときに使う名称であり、NPO は法人格という面で考えれば、国県からの認証を受けた団体である。

## 【今後の進め方について】

- ・ 部会長：15年度に入って協働推進会議についてすべてをきっちりと進めるというよりは、15年度1年間はシミュレーションを行いながら検討を進める、というゆるやかな方針で臨むべきである。
- ・ 委員：賛成だが、14年度中に何を決めるのかを確認する必要がある。
- ・ 部会長：14年度にマニュアル的なものを形にできればと思う。それをもとに15年度はシミュレーションの期間とすれば良いのではないか。
- ・ 座長：昨年は、部会2回分を1日で開催したが、今回もそのような密度の濃い議論が必要になるだろうか。
- ・ 部会長：検討するテーマによるだろう。テーマごとに開催時間の設定を考える必要が出てくると思う。
- ・ 委員：全体会で方向性を決めたいうえで、作業部会での検討に入った方が効率的ではないか。スケジュール案では、第2回全体会の前に部会の1回目を開催することとなっているが、逆の方が良いと思う。
- ・ 座長：作業部会の1回目には、なるべく多くの皆さんに参加いただき、ということで部会を開催して差し支えないと思う。
- ・ 委員：作業部会はスケジュール案にある6回という数字にこだわらず、必要に応じて開催するような心構えが必要だと思う。
- ・ 委員：検討にあたっては、市内のNPO支援策や全国との比較ができる資料など、具体的なものを持ち寄って議論を進めるべきである。

## 【ワークショップとの関係について】

- ・ オザバ-参加者：ワークショップが既に先行して動いているが、準備会の検討内容と十分に連携をとって進めたいので、会議の日程はワークショップの動きも踏まえて考えてほしい。また、2月8日のイベントまでには一定の検討成果を出す必要がある。
- ・ 委員：ワークショップと準備会との関係性がまだよく理解できない。
- ・ 事務局：昨年の検討会議においては、新しい公共の考え方や条例素案づくりにおいて、検討会議での課題をワークショップで議論し、その結果をまた検討会議に返す、というキャッチボールが行われた。今回は、準備会では推進会議の機能、ワークショップでは協働事業が中心テーマとなるため、昨年ほどのキャッチボールはできないと思われるので、それぞれの検討内容をきちんと報告していく必要がある。
- ・ 座長：情報の集約化が必要。

- ・ 部会長：ワークショップとの関係性を考えると、作業部会での検討事項は、1・2回目で『推進会議の機能』、3・4回目ではワークショップでの議論をもとにして『協働事業や市民事業』、5・6回目で『まとめ』というテーマ設定が良いかもしれない。
- ・ 座長：今後の進め方については、今まで出た意見をもとに、1回目の部会で検討をお願いしたい。
- ・ 委員：準備会では、推進会議の運営や委員に関する内容を中心テーマとして、協働事業等については、ワークショップとの連携のもとに検討を進める、という考え方で良いと思う。
- ・ 委員：協働の拠点は具体的なテーマとしてはあげないのか。
- ・ 部会長：協働の拠点については、場所等を含めた個別具体の検討まではできないだろう。全体会の最終回で議論をまとめていくなかで、あわせて検討する形が良いかもしれない。いずれにしても1回目の作業部会で考えてみたい。
- ・ 委員：検討内容のボリュームからして、やはり分科会について考える必要があると思う。申し合わせ事項にある3つのテーマごとに検討を行って全体会で調整する、という形が良いのではないか。
- ・ 事務局がうてい：参考資料として「協働事業に関するアイデア一覧」があるが、これらの内容を実現するつもりならば、しっかりとした検討が必要である。
- ・ 座長：これらは市民から提案のあったアイデアをまとめたもので、すべてを準備会で検討して実施する、という性格のものではない。今後の議論における参考資料として活用したい。

### 【具体的な日程について】

- ・ 座長：1回目の作業部会は、時間はかかるだろうか。
- ・ 部会長：今後の進め方の確認と検討会議から持ち越されている課題の整理が必要なので、3～4時間かかるかもしれない。3時間程度で設定して延長する場合は、その場で確認することとしたい。

事前に行った会議開催日時に関するアンケート結果をもとに日程調整を行い、次のように決定

- (第2回ワークショップ：10月14日(月)午後1時30分から鶴間コミセン)
- ・第1回作業部会：11月1日(金)午後2時から3時間程度
  - ・第2回全体会：11月13日(水)午前10時から2時間程度
- (第3回ワークショップ：11月17日(日)午後1時30分から鶴間コミセン)

### 【事務局ボランティア、メンバー構成について】

- ・ 部長：事務局ボランティアの皆さんの関わり方も作業部会で議論してみたい。
- ・ 事務局ボランティア：事業者委員はメンバーに加わらないのか。協働事業を進めるためには、事業者の参加が重要だと思うが。
- ・ 事務局：現段階では事業者代表委員は入っていないが、メンバー構成等についても今後議論いただきたい。
- ・ 委員：実際には事業者の方もメンバーに入っているので、あえて事業者委員として別に入ってもらわなくても良いと思う。
- ・ 座長：そろそろ終わりの時間だが、今日の議論に関連して何か考えがあれば、事務局へ提案してほしい。

### その他

事務局から次の点について確認を行い、了承を得た。

- ・ 委員名簿と事務局ボランティア名簿は、資料から電話番号を除き、氏名・性別・区分・備考を公開する。
- ・ メールアドレスの委員間での公開（事務局からの連絡は、なるべくアドレスを明示しないような方法をとる）

閉会：16時20分

(記録者：市民活動課 井東)